

生体関連材料研究室（相澤研）

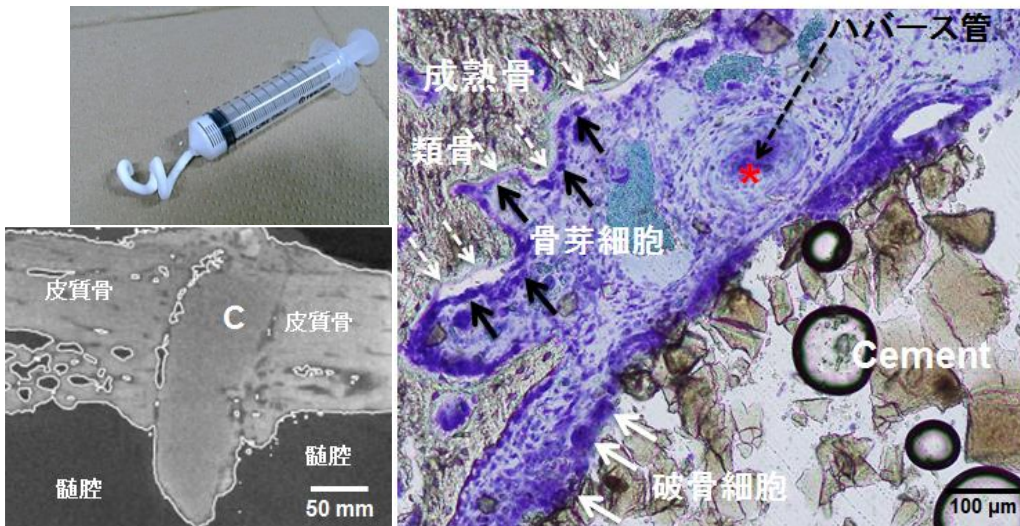
歴史： 2003年度4月に発足。今年度は**明治17年目**に突入！

目標： 高度医療・福祉を指向する「**バイオマテリアル**」の開発

対象： 「**アパタイト**」などのリン酸カルシウム

内容： これらの素材をもとに**新規な材料を合成**し、培養**細胞**や実験**動物**を用いて生物学的評価を行ない、材料特性と細胞・生体組織との関連性を明らかにして、その知見を**医療用デバイス（人工骨など）**として応用する。

創製した「材料」を通して人類のQuality of Life (QOL)向上に貢献する！



生体吸収性キレート硬化型ペースト状人工骨：

産学連携：現在、実用化にむけて医療機器メーカーと共同研究推進中

当日は、ラボ内の実験や設備を
研究室学生がご案内します！



2019年度研究室メンバー